

GISA 沖縄 2011ワークショップ

フリー版GISを使って防災情報分析

渡邊康志 @GIS沖縄研究室

GISデータについて

TINTools のデータファイルはwindowsから見るところのファイルとなり、内部の詳細を知ることはできない。
 フォルダ内には複数の「*.shp」が含まれる → GISデータ本体
 「*.shp」はwindowsのフォルダ「オーバーレイ」がファイルと見えると理解しやすい。

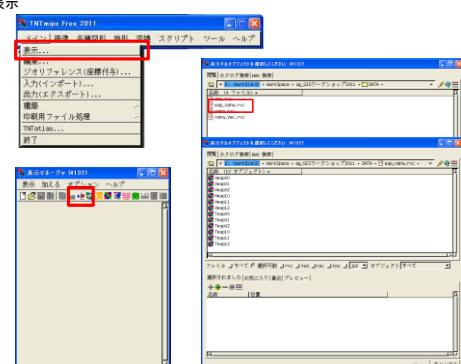
GISツールバーは大きくベクトルデータとラスターに区分される。ベクトルデータは陸地や道路など、線分などで構成される图形として表示され、その图形ごとに属性値としてその图形があるする情報値を保持する。一方、ラスターデータは背景として表示される。データを組合して一つの集合、ストアやデータセットとした場合はカラーパレットを表示する。DODでは、ベクトルデータとラスターを組合して一つのデータとして表示する。ベクトルデータとラスターを組合して一つのデータとして表示する。ベクトルデータとラスターを組合して一つのデータとして表示する。

操作方法



① フィルタ→設定変更を表示に反映された場合の再描画ボタン
 ②表示範囲を変更した場合、以前の表示範囲へ戻す
 ③縮尺拡大、縮尺を2倍に拡大
 ④縮尺縮小、縮尺を1/2倍に縮小
 ⑤座標表示→新規座標系をドロップで表示
 ⑥座標系→マウスホイールで表示
 ⑦レイヤー(地図データ)の追加
 ⑧マップの表示範囲移動、マップをドラッグする
 ⑨検索ツール
 ⑩GooToolBox 計測ツール

地図表示



・大正時代地形図を重ね合わせてみよう
 海岸線の変遷や市街地の広がりを確認してみよう。
 大正時代の海岸線を現在の地図に重ねてみましょう。
 naha_Vec.vrt 中の大正海岸線ナビゲート
 大正地図に現在の海岸線を重ね合わせてみましょう。

・地図表示を調整してみよう
 拡大・縮小、表示位置の移動などをしてみよう。

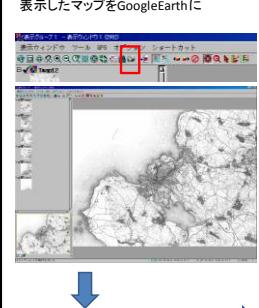
地図データはウォンゴ地図
 (<http://www.watchinu-gis.jp/>)
 よりDL 利用方法は
<http://www.watchinu-gis.jp/index.html>
 を参照してください。



字町丁目境界 統計GISより
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/toukeiChiri.do?method=init>



表示したマップをGoogleEarthに



↓

